

ボーリング調査位置平面図

S=1:1,000

指 宿 市			
工事名	平成	年度	工事
河川名			
工事箇所	指 宿 郡	町 小 牧 地内	
図面種類	平 面 図		
縮 尺	S=1:1,000		
図面番号	全	業 第	号

ボーリング柱状図

調 査 名 観音崎公園整備事業地質調査業務委託

ボーリングNo. 0000000001

事業・工事名

シートNo. 1

ボーリング名	No. 1		調査位置	指宿市大字小牧地内			北 緯						
発注機関	指宿市建設部都市計画課			調査期間	平成 14年 3月 26日 ~ 14年 3月 28日		東 経						
調査業者名	㈱ 日本ジオテック 電話(099-220-4351)		主任技師	南谷 貢	現場代理人	山ノ内 忍	コ 鑑 定 者	山ノ内 忍					
ボーリング責任者								浅井 忠大					
孔口標高	19.83m	角 度		方 向		地盤勾配		使用機種	試 錐 機	吉田製 YBM-05型	ハンマー	落下用具	コーンブリー
総掘進長	5.00m	度	0°	向	0°	鉛直	0°	エンジン	ヤンマー製 NFD8	ポンプ	吉田製 GP-5型		

標 尺 (m)	層 高 (m)	層 厚 (m)	柱 状 図	土 質 区 分	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	孔内水位(m)/測定月日	標準貫入試験				N 値	原 位 置 試 験 深 度 (m)	試 験 名 および結果	試 料 採 取 深 度 (m)	試 料 番 号	採 取 方 法	掘 進 日
										10cmごとの 打撃回数	0	10	20							
19.73	0.10	0.10		表土	黄茶色			草根類を混入する有機質な砂質土。		砂質土	10	10	10	11						
18.98	0.75	0.85		シラス	褐灰			入戸火砕流、φ2~20mm程の軽石や重砂類を混入する。		軟弱土	1.15	3	4	4	11					
18.08	0.90	1.75		軽石層	白灰	中位		φ2~10mm程度の軽石を主体とする。含水量は小位である。		軟弱土	1.45	5	8	8	21					
17.83	0.25	2.00		固結粘土	茶			古土壌の固結土。		軟弱土	2.15	7	10	11	23					
				強風化凝灰岩	茶褐			非常に硬い。火山灰山噴出物?。岩芯を破し、凝湿り粘土~壤質土状を呈す。2.5~3.0cm間には色変し岩片を含む。		軟弱土	3.45	24	26	50	50					
15.33	1.50	3.50		低液限凝灰岩	茶褐			火山灰山噴出物?。礫状コアで採取されるが、ハンマー打撃で容易に砕ける。φ3.8~4.0mm間はφ20~30mm程の礫状コアとなる。全体として、軟岩 I に岩分類される。		軟弱土	4.15	5	5	15	15					
14.83	1.50	5.00								軟弱土	4.30	32	18	50	50					
										軟弱土	5.15	4	4	14	14					
										軟弱土	5.29									

Bor No. 1号

ボーリング柱状図

調査名 観音崎公園整備事業地質調査業務委託

ボーリングNo. 0000000002

事業・工事名

シートNo. 2

ボーリング名	No. 2		調査位置	指宿市大字小牧地内			北緯				
発注機関	指宿市建設部都市計画課			調査期間	平成14年3月28日～14年3月29日		東経				
調査業者名	(株)日本ジオテック 電話(099-220-4351)		主任技師	南谷 貢	現場代理人	山ノ内 忍 コ鑑定者 山ノ内 忍	ボーリング責任者	浅井 忠大			
孔口標高	16.21m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 東 90°	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0° 90°	使用機種	試錐機 吉田製 YBM-05型 エンジン ヤンマー製 NFD8	ハンマー落下用具	コーンブーリー
総掘進長	10.00m	度								ポンプ	吉田製 GP-5型

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位(m)/測定月日	標準貫入試験				N 値	原位置試験 深 度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深度 (m)	採取方法	室内試験 ()	掘進 月 日
										深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数/ 貫入量 (cm)	0							
15.26	0.95	0.95	△△△	盛土	黄茶褐色			シルスや粘性土を混用した盛土。0.35mまでは砂質土優勢。0.35m～粘性土優勢。	粘性土	1.15	1	1	3							
14.46	0.80	1.75	△△△	凝灰質シルト	乳褐色			福田火砕流(Ⅰ)の凝灰質シルト。風化シルス的であるが細粒化してシルトとなっている。	粘性土	1.50	7	9	26							
			△△△	シルス	褐色			入戸火砕流。含水量少。φ2～20mm程度の軽石を少量含む。4.0～5.0m付近はφ30～50mm程度の軽石を点状含有する。5.0m～含水量がやや増える。	粘性土	2.15	10	10	33							
			△△△	軽石	黄茶褐色	中位		大西降下軽石層。φ2～20mm程度の軽石主体。7.5m～色調が茶褐色となり砂分の混入が多い。含水量中位。	粘性土	3.15	10	10	33							
			△△△	固結粘土	黒茶			腐植土の古土壌。	粘性土	3.45	11	15	42							
			△△△	固結凝灰岩	黄灰			唐山火山噴出物？。岩塊部ありハンマーの軽石で割れる塊の硬さ。砕くと小塊崩れり砂となる。軟弱土に属する。	軟岩Ⅰ	4.15	10	11	38							
			△△△	凝結凝灰岩	暗灰			阿多火砕流。10.6mまで確認。10.2mまでは短柱状。以下10～20cm程度の棒状コアで採取される。崩裂面の一部に黄褐色粘土を薄く挟む。軟岩Ⅱ相当。	軟岩Ⅱ	5.15	10	10	33							
										6.15	10	10	33							
										6.45	8	9	28							
										7.15	6	6	17							
										7.45	5	6	17							
										8.15	3	2	8							
										8.45	3	2	8							
										9.15	3	2	8							
										9.45	貫入不能	貫入不能	0							
										10.00	貫入不能	貫入不能	0							
										10.00	貫入不能	貫入不能	0							

Bor No. 2号

ボーリング柱状図

調査名 観音崎公園整備事業地質調査業務委託

ボーリングNo 000000000003

事業・工事名

シートNo 3

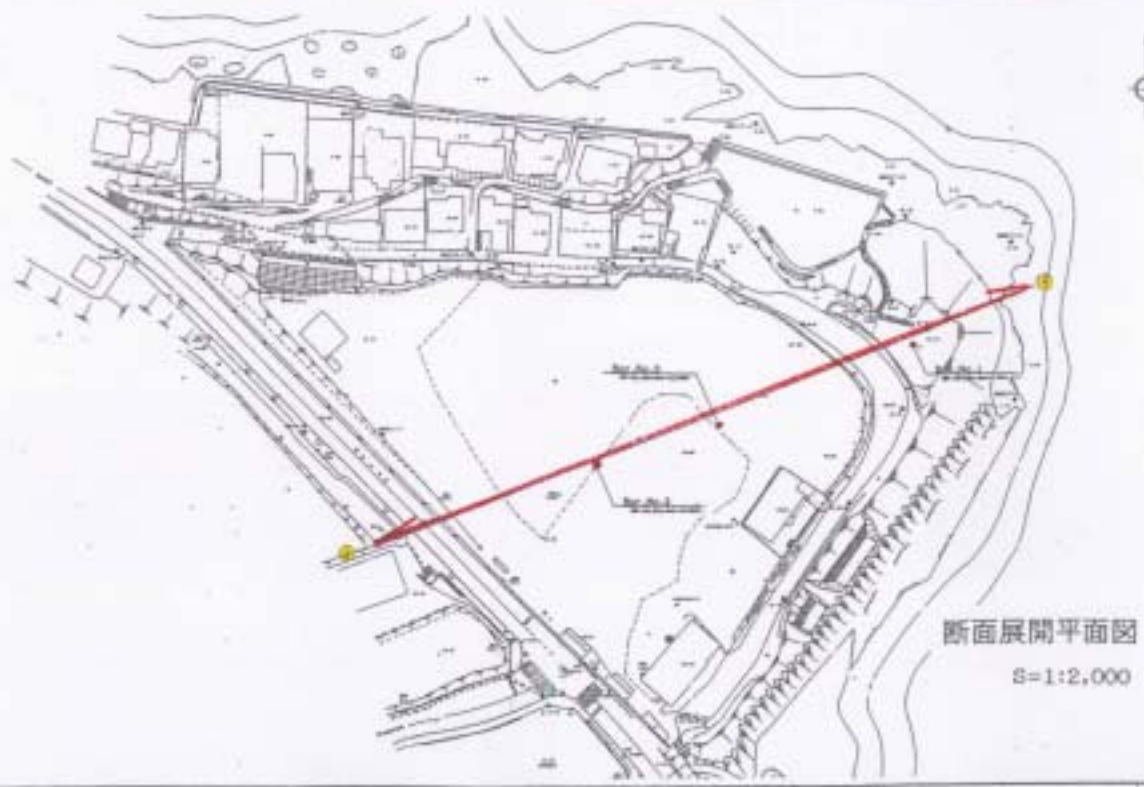
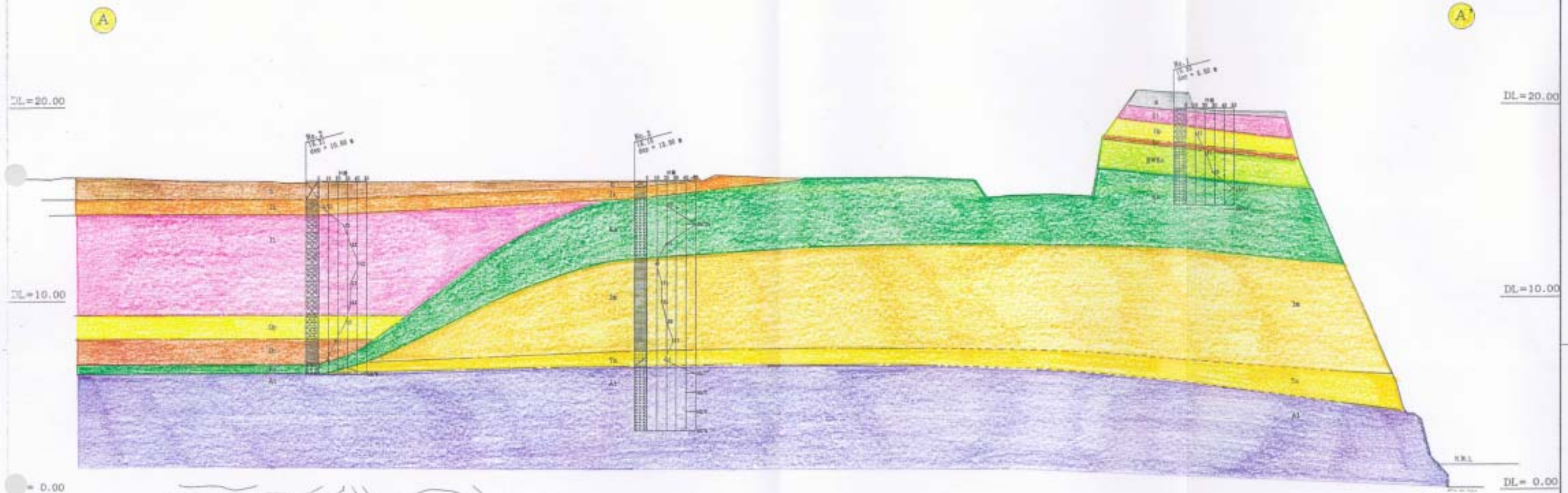
ボーリング名	No. 3		調査位置	指宿市大字小牧地内			北緯							
発注機関	指宿市建設部都市計画課			調査期間	平成 14年 4月 1日 ~ 14年 4月 8日		東経							
調査業者名	関 日本ジオテック 電話(099-220-4351)		主任技師	南谷 貢	現場代理人	山ノ内 忍 コ 鑑 定 者 山ノ内 忍	ボーリング責任者	浅井 忠大						
孔口標高	16.16m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試験機 エンジン	吉田製 YBM-05型 ヤンマー製 NFD8	ハンマー 落下用具	コーンブーリー	ポンプ	吉田製 GP-5型

標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				N 値	原位置試験 深 度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深 度 (m)	採取 番号	室内試験 ()	掘進 月 日	
									深 度 (m)	10cm 打撃回数	10 20 30	打撃回数 / 貫入量 (cm)								
15.88	0.30	0.30	盛土	茶褐			φ2~20mm程度の礫を多く混入する 凝結シリト。	15.88	1.16	4	6	10	20							
16.28	0.60	0.60	凝結シリト	乳灰			池田火砕流? シラス色に近い固結シリト。		2.15	14	22	14	50							
			低液結凝灰岩	茶褐 赤褐 黄褐	中位 非常に硬い		唐山水噴出物? 2.0~3.0m付近は岩組織多く軟弱状を呈す。細く小礫混じり砂状となる。		2.40	6	7	6	19							
12.16	3.10	4.00	固結シリト	黄褐 乳灰	硬い 非常に硬い		今和泉火砕流? シラス色に近く全体にシリト化している。φ5~20mm程度の火山礫を少量含む。8.5m~砂分が多くなる。		3.15	6	7	6	19							
			凝結凝灰岩	暗灰	中位		旧火砕流? φ10mm程度のスコリアを混入するシラス質な凝結砂。		3.45	2	2	5	9							
			凝結凝灰岩	暗灰	中位				4.15	2	2	5	9							
			凝結凝灰岩	暗灰	中位				4.45	5	5	5	15							
			凝結凝灰岩	暗灰	中位				5.15	5	5	5	15							
			凝結凝灰岩	暗灰	中位				5.45	5	5	5	15							
			凝結凝灰岩	暗灰	中位				6.15	5	5	5	15							
			凝結凝灰岩	暗灰	中位				6.45	6	6	8	20							
			凝結凝灰岩	暗灰	中位				7.15	6	6	8	20							
			凝結凝灰岩	暗灰	中位				7.45	7	10	10	27							
			凝結凝灰岩	暗灰	中位				8.15	7	10	10	27							
			凝結凝灰岩	暗灰	中位				8.45	5	5	7	18							
			凝結凝灰岩	暗灰	中位				9.15	5	5	7	18							
			凝結凝灰岩	暗灰	中位				9.45	30	1		1500							
			凝結凝灰岩	暗灰	中位				10.00	30	1		1500							
			凝結凝灰岩	暗灰	中位				10.01	30	1		1500							
			凝結凝灰岩	暗灰	中位				11.00	貫入不能										
			凝結凝灰岩	暗灰	中位				11.00	貫入不能										
			凝結凝灰岩	暗灰	中位				12.00	貫入不能										
			凝結凝灰岩	暗灰	中位				12.00	貫入不能										
			凝結凝灰岩	暗灰	中位				13.00	貫入不能										
			凝結凝灰岩	暗灰	中位				13.00	貫入不能										

Bor No. 3号

地層想定断面図

H=1:400
V=1:200



地質凡例				
地質凡例	地層名	土・岩質名	記号	説明
表層	表土	雑草土、耕種土	A1	地質調査時に採取。地質調査中の表層土に属する。耕種土・雑草土の混在土からなる。
	表土	砂質土	T1	表層土に属する。地質調査時に採取。地質調査中に採取。地質調査中に採取。地質調査中に採取。
	表層土	粘質土	H1	地質調査時に採取。地質調査中に採取。地質調査中に採取。地質調査中に採取。
	表層土	砂質土	D1	地質調査時に採取。地質調査中に採取。地質調査中に採取。地質調査中に採取。
中層	中層土	粘質土	S1	地質調査時に採取。地質調査中に採取。地質調査中に採取。地質調査中に採取。
	中層土	砂質土	L1	地質調査時に採取。地質調査中に採取。地質調査中に採取。地質調査中に採取。
	中層土	粘質土	C1	地質調査時に採取。地質調査中に採取。地質調査中に採取。地質調査中に採取。
底層	底層土	粘質土	T1	地質調査時に採取。地質調査中に採取。地質調査中に採取。地質調査中に採取。
	底層土	砂質土	S1	地質調査時に採取。地質調査中に採取。地質調査中に採取。地質調査中に採取。

図 4-2 地層想定断面図

指 宿 市	
工事名	建設中の地質調査報告書(抜粋)
河川名称	
工事箇所	指宿市大字小島地内
図面種類	地層想定断面図
縮尺	H=1:400, V=1:200
図面番号	全 葉 第 5 号